

# 病害虫防除技術情報第14号

令和4年12月6日  
三重県病害虫防除所

**12～2月は、耕起によるスクミリンゴガイ対策の好適期です。  
越冬量を減らし来春以降の被害軽減につなげましょう。**

1. 対象作物                      水稻

2. 対象病害虫名                スクミリンゴガイ

3. 発生状況

- (1) 病害虫防除所の6月の巡回調査圃場ではスクミリンゴガイの発生圃場率は9.6%（過去8か年平均5.4%）と多い状況が続いています。
- (2) 3か月予報（11月22日名古屋地方気象台発表）では、12～2月の気温は平年並か低く、晴れの日が多いとされています。晴れの日が多いことから耕起の機会が増えると考えられます。
- (3) この時期は気温が低いことから、この冬期間のスクミリンゴガイの死亡率は高くなると予想されます。

4. 防除対策

- (1) 耕起防除は2回以上行いましょう。
- (2) 耕起1回目は、①厳冬期前（稲刈り後～12月）の田面が硬いときに、②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。深さ6cm程度の浅耕で効果が高いです。
- (3) 耕起2回目は、①厳冬期（1～2月）に、②慣行の設定で走行し、作土深の確保に努めましょう。
- (4) レーザーレベラーなどを用いて田面を均平にすると、移植後の浅水管理の効果が高くなります。
- (5) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。
- (6) スクミリンゴガイ防除対策マニュアルが、以下のURLの技術資料ページで公開されていますので参考にしてください。

<https://nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/mie>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。